

『学校教育魅力化フォーラム』

【存続事例】

義務教育学校化(小中一型・義務教育学校へ)
英語学習の充実
ICTの活用
テレビ会議の導入

小中一貫教育を導入し、義務教育学校や小中一貫型小学校、中学校を設置
小規模校のメリットを最大化させるために特色あるカリキュラムを編成
子どもの活躍の場を保障

北海道占冠村教育委員会

教育長 藤本 武



占冠村の様子

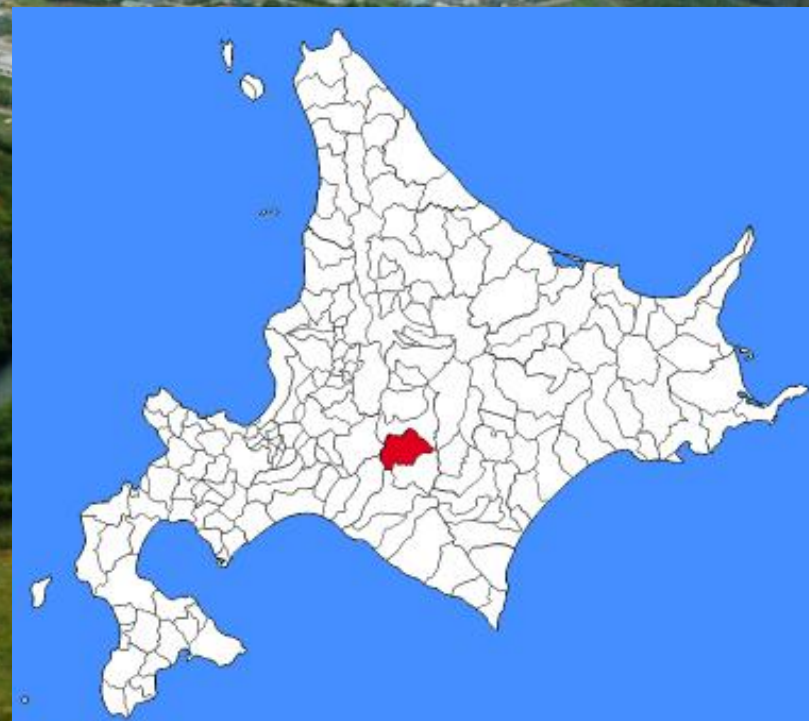
東京23区とほぼおなじ面積

森林は94%

人口密度 東京豊島区
22,996.9人

占冠村 2.3人

人口 1,378人(平成30年6月末現在)
外国人 254人



交通アクセスも充実

～道の駅～ 自然体感占冠



トマムリゾート

～ 2000人以上の宿泊客～

雲海テラス



クラウドウォーク



クラウドプール



学校教育の魅力化

少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業の2つの柱

占冠大好き教育

ふるさと学習

英語学習

地域はどこも学校，

地域の自然・人・物はみな教師である

学校教育の魅力化を支えるもの

占冠学園(小中一貫・義務教育学校)

地域学校協働本部・公民館・関係機関

三者(北大・リゾート・村)連携協定

ICT環境(TV会議システム・電子黒板)...具体策の一つ

占冠中央小学校



施設分離型小中一貫校

占冠中学校



トマム学校



義務教育学校

コミュニティ・スクール
占冠村立占冠中央小学校



校長

森野 憲仁



〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央
TEL.0167-56-2824 FAX.0167-39-8007
携帯.080-1891-0951 自宅.0167-56-2631
[E-mail] shimu-cyuoutop@shimu-school.jp

学校存続へ向けて(地域の強い願い)

占冠中央小学校 平成26年5月からコミュニティ・スクール(5年目)

「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」

平成27～29年度 3年間の取組(占冠中央小学校を中心に)

トマム小中学校, 占冠中学校 平成28年度からコミュニティ・スクール

トマム小中学校が, 平成29年度から義務教育学校へ移行

(トマム学校と改称)

占冠中央小学校と占冠中学校が平成30年度から小中一貫校へ移行

一部教諭の兼務発令実施

占冠学園(村内3校を維持しながら, 教育の質を高める教育)の実現

義務教育学校への移行（平成29年4月）

トマム学校



トマム小中学校（併置校）



トマム学校（義務教育学校）

教職員の共通理解と連携が深まる

教科担任制度が始まる

北海道大学大学院との連携が深まる

占冠中学校との連携が深まる（ネットワーク授業や兼務発令教諭の授業）

小中一貫校への移行 (平成30年4月)

占冠中央小学校



占冠中学校



教職員の共通理解と連携が深まる

中学校教諭(兼務発令)が指導(音楽, 算数, 補助指導)

北海道大学大学院との連携が深まる(ネットワーク授業)

個人カルテの引き継ぎ(中学校へ安心して通学)

保・小・中の連携

ICT機器の活用

CS 占冠学園

公民館

- ◆ふるさと学習
- ◆英語教育

- ◆ネットワーク授業
- ◆タブレット
- ◆電子黒板

清流大学・長生会・図書館等

占冠学園学校運営協議会

社会教育

占冠小中学校運営協議会
トナム学校運営協議会

子ども会育成会
青少年育成協議会

三者連携協定

占冠村

地域学校協働本部（地域コーディネーター）

関係機関

川の学校・雪の学校
国際感覚の育成
キャリア教育

各学校PTA
占冠村PTA連合会
占冠村公民館・占冠村
占冠保育所
占冠村教育委員会

北翔大学
北海道教育大学
北海道科学大学
日高山脈博物館
国立日高青少年自然の家

北海道大学

星野リゾート
トナム

占冠中央小学校

コミュニティ・スクール

地域はどこも学校、
地域の自然・人・物はみな教師である

占冠っていいね！

占冠大好き！

ICT機器の活用

保・小・中の連携

英語教育の充実

- ①保小の連携
 - ②小中の連携
- 中学校2年生
アスペン留学



- 札幌-道央圏ESD-SDGsコンソーシアム
- 全国各地のCS小中一貫校との情報交流

三者連携協定

占冠村

川の学校
雪の学校
雲の学校
国際交流
国際感覚の育成
キャリア教育

北海道大学

連携

星野リゾート トナム

トナム小中学校との合同授業

- ・オカリナ
- ・スポーツキッズ
- ・アコーデオン
- ・ギター教室
- ・ピアノ教室
- ・そろばん
- ・地域観光
- ・動画配信
- ・写真撮影
- ・算数(計算)
- ・国語(漢字)
- ・楽器指導
- ・切り絵
- ・縄跳び
- ・アクセサリー
- ・ドッチビー
- ・サッカー

CS占冠学園

トナム地区 義務教育学校
中央地区 小中一貫校

占冠学園学校運営協議会

- 占冠学校運営協議会 15名
- 地域住民 2名
- 保護者 4名
- 学識経験者 1名
- 校長・教頭 6名
- 担当教諭 2名
- 関係行政機関 2名

保護者

地域住民

地域学校協働本部・公民館

地域学校協働本部会議・占冠中央小学校PTA
占冠村PTA連合会・占冠村公民館・中央家庭学級
占冠村各課・占冠保育所・占冠村教育研究会

- ①学校間ネットワーク授業
鹿児島県徳之島町立母間小・寿都小
- ②遠隔授業(大学)
- ③プロジェクター型電子黒板2台配置
- ④タブレット児童一人一台配置

中央家庭教育学級 (中央小学校)

社会教育

- 子ども会育成会
- 青少年育成協議会
- 各スポーツ少年団後援会

関係機関

清流大学・長生会
とま〜る(小規模多機能型居宅介護施設)
のんの(保健福祉センター)
社会福祉協議会・役場
スローフード・北翔大学
北海道教育大学・科学大学
道の駅・日高山脈博物館
国立日高青少年自然の家

- 図書館支援
- 読み聞かせ
- 放課後見守り
- 総合的学習支援
- 教科指導支援
- ・化石の学習
- ・メープル
- ・羊、鹿革
- ・山菜や漬け物
- ・学習サポート
- ・情報モラル
- ・人権教育
- ・租税教室
- ・薬物乱用防止教室
- ・雪の学校
- ・川の学校
- ・雲の学校
- ・占冠神楽
- ・プログラム学習
- ・国際感覚
- ・国際理解
- ・中国語韓国語等
- 栽培活動支援
- マラソン見守り
- 自然観察ガイド
- スキー授業支援
- 登下校見守り
- 高齢者ふれあい
- アスペン交流
- 運動会交流
- 家庭科学習支援
- 音楽科学習支援
- 占冠音頭指導
- 放課後・長期休業学習サポート
- 土曜学習
- ・英語
- ・卓球
- ・国際理解
- ・おやつ作り
- ・サッカー

地域学校協働本部・三者連携協定



三者連携 北大・星野リゾート・村
～ 北大との連携協力～

- ・「川の学校」や「雪の学校」
- ・海外からの従業員による国際理解教育

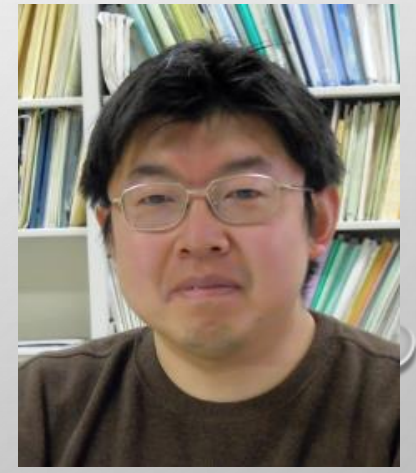
- ・見守りボランティア
- ・読み聞かせボランティア
- ・占冠音頭指導
- ・器楽指導
- ・栽培活動
- ・陶芸指導 等・・・



北大環境科学院
山中教授



北大地球環境科学
根岸特認教授



北大地球環境科学研究所GCOE
上級コーディネーター 中村氏

学校教育の魅力化の具体策

- (1) ショウ & テル・英語スキル
- (2) 英語学習・国際交流集会
- (3) 個人カルテ作成と活用
- (4) ICT機器活用
- (5) 教育環境整備と有効活用
- (6) 学校間ネットワーク授業
- (7) 協力大学との遠隔授業・他校とのネットワーク授業
- (8) ふるさと学習(伝統文化)・三者連携(北海道大学・星野リゾート・占冠村)
- (9) 国際感覚を身に付けるプログラム
- (10) 児童の社会性の育成(縦割り班・管外の児童との通学合宿等)
- (11) 豊かな学習環境(放課後子ども教室・土曜学習・学習サポート・公設塾)
- (12) その他の教育活動(癌教育・薬物乱用防止教室等)

(1) ショウ & テル

(2) 英語学習の充実

- ショー・アンド・テルの取組 (夏休み作品発表)
- 英語学習 1・2年 3・4年 6年
- アスペン短期交換留学における学校訪問



えいご じこしょうかい 英語で自己紹介をしよう

- ① わたし(ぼく)のは、～です。「My name is Haruki Saito.」

My name is _____」

- ☆ わたし(ぼく)は、～^{さい}です。「I'm 9 years old.」

I'm _____ years old.



- ② わたし(ぼく)は、～^すが好きです。「I like cooking.」

I like _____.

I like _____.



- ☆ わたし(ぼく)は、～^{とくい}が得意です。「I'm good at P.E.」

I'm good at _____.

- ☆ わたし(ぼく)の^{ゆめ}は、～になることです。

「I want to be a teacher.」

I want to be a _____.

アメリカ合衆国コロラド州 アスペン市との 短期交換留学



占冠中学校2年生とトマム学校8年生が
アスペン市へ短期留学



(3) 個人カルテ

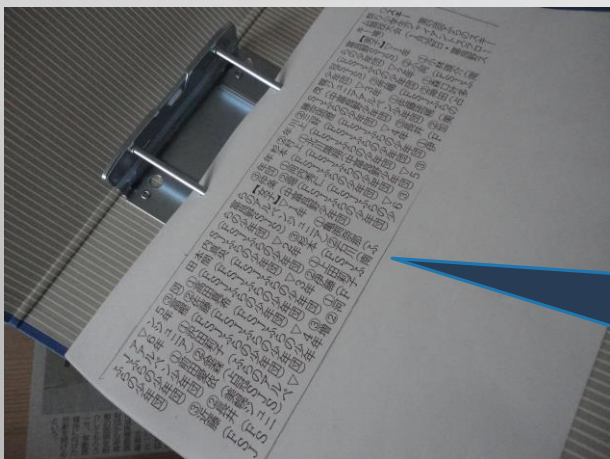


中学校へ引き継ぐ

算数の記録



学力検査結果



新聞記事 (大会記録等)

H00年度入学 ○○ ○○ (0年生時の記録)

日付	□苦手が見られた場面	○苦手に対する指導	○成果 △課題
	□あまりのあるわり算に「あまりがはな」という状況がつかめていない。	○絵や図をかくことで、イメージをつかませるようにした。	○担任が絵や図を書き出せると、正答が導き出せる。自分で図や絵に表記すること算である。特に「わり算」というイメージがない。(同じ数で割ると、答えが導き出せる)

量と測定

日付	□苦手が見られた場面	○苦手に対する指導	○成果 △課題
	□計りの示す重さを読み取るのが苦手。1目盛りが何グラムなのかをえきれない。	○「1kgを10こに分けたら？」の問いから1目盛り分を求めるようにした。	△「1kgを10こにわけたら？」「1000gを10こにわけたら？」など、問いに対して、答えられない。「10こにわけない」のイメージがつかめていない。 △1kg → 1000gも曖昧なため、1kg = 1gなどという答えを出してしまうことがある。

図形

日付	□苦手が見られた場面	○苦手に対する指導	○成果 △課題
	□直径と半径の関係性が曖昧な部分も。半徑の「直」という角度がはっしていない。	○図を自分で描き、部分部分を指さして説明させた。 ○三角定規の直角の部分を「直」と捉えさせた。	△「直径」という言葉が混ざってしまう。 △自分で図を示すことは難しい様子が見られる。 △「直角」に対する定義は理解できていない。また「長角」と間違えることが多い。

数量関係

日付	□苦手が見られた場面	○苦手に対する指導	○成果 △課題
	□「1000より大きい数」にて、位どりが曖昧になってしまう。 □「50,000は100が何個集まった数か？」に対して答えが全く検討いになってしまう。	○縦に線をひき、位をとらせた。特に4桁ごとに線を引かせた。 ○50000 100 と線を引き、500個の集まりということを明示した。	○数字を読むことはできた。 ○指導直後は効果が見られた。 △1週間後などには定着していない。

(4) ICT活用



修学旅行事前学習



Eライブラリー



北大との遠隔授業

(4) ICT活用

1年から
プレゼンの経験

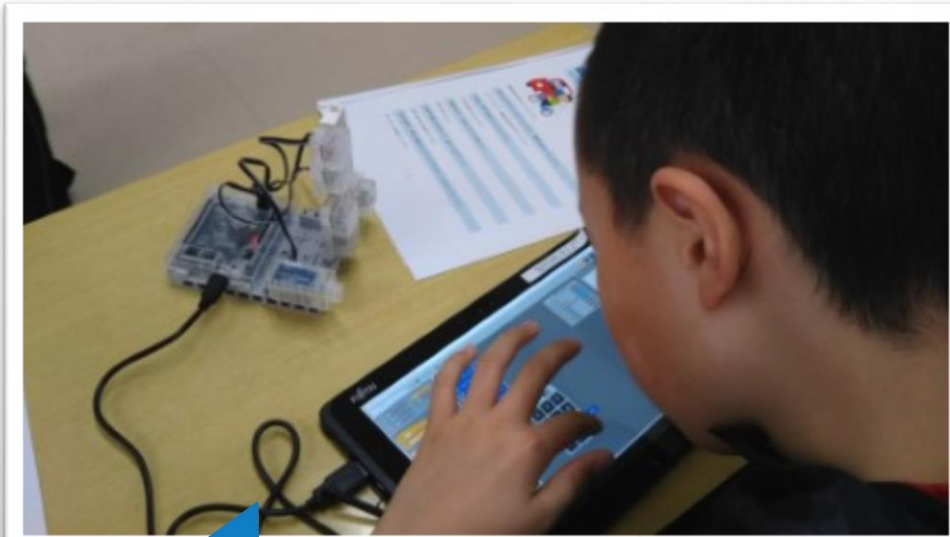


6年 「水溶液の性質」
～ 学んだことを論理的に説明～



3年
社会見学まとめ

(4) プログラミング学習



LEDの点滅の
プログラムを作成中

外部講師～地域おこし協力隊～

プログラムの必要性とプログラム
で出来ること

(5) 教育環境整備





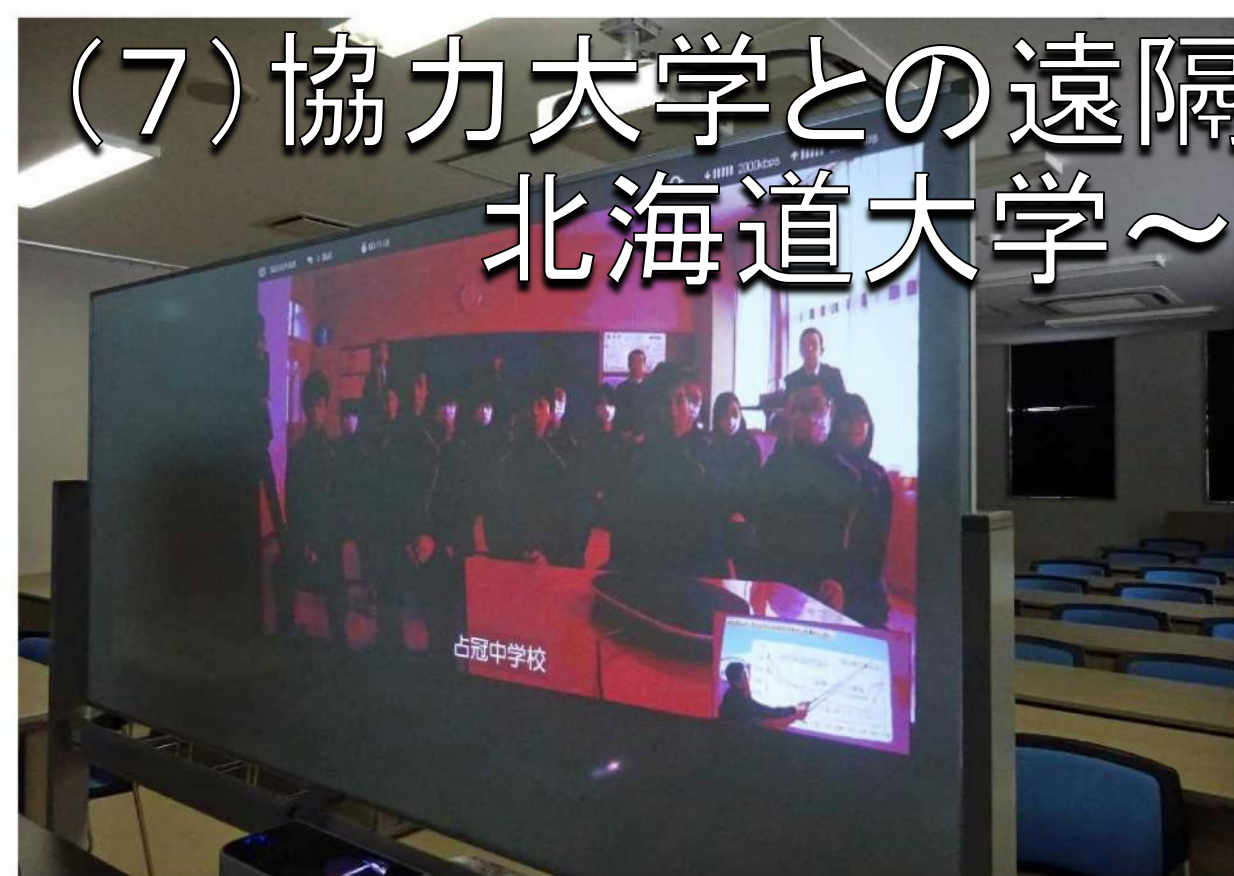
(6) 学校間ネットワーク授業

トマム学校～占冠中学校(村内30km)

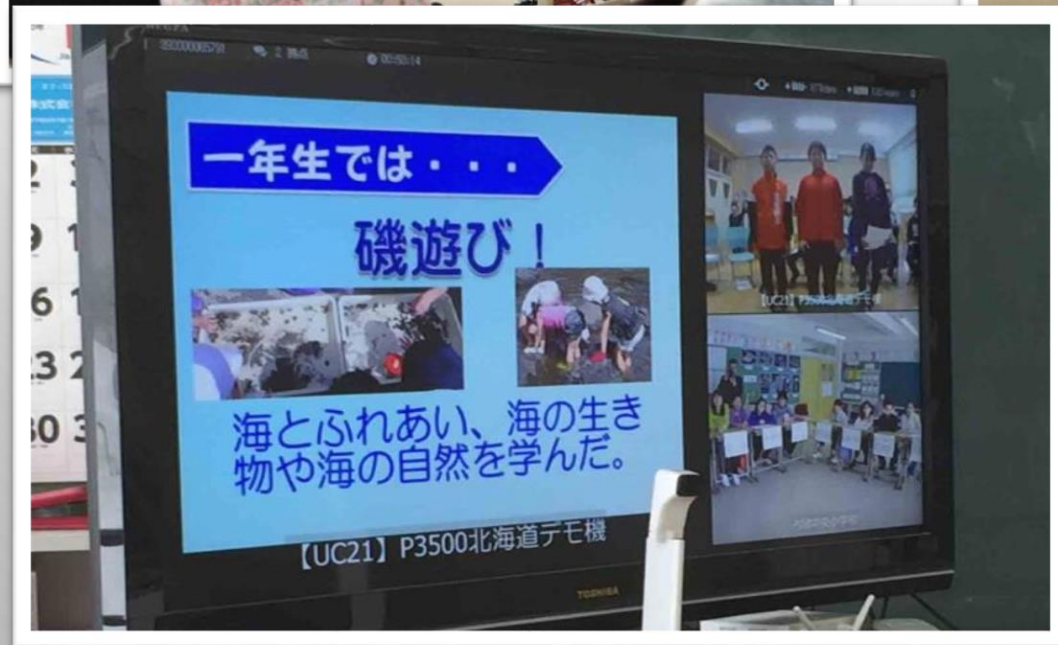


(7) 協力大学との遠隔授業

北海道大学～占冠中学校（100km）



(7) 他校とのネットワーク授業 占冠中央小～寿都小学校



(7) 他校とのネットワーク授業 占冠中央小学校～母間小学校(徳之島)

直線距離2000km



(8) ふるさと学習 石の学校



(8)ふるさと学習 メープルシロップ



(8) 占冠神楽 伝統の継承

(占冠神楽 舞)



(8) 伝統文化授業

ドキュメンタリー映画監督

野田香里氏



文化とはなにか

(8) ふるさと学習「川の学校」「雪の学校」 三者連携(北大・リゾート・占冠村)



修学旅行 北海道大学との連携

大学院環境科学院

駐輪
No Bicycle

靴の泥を落とす
お入り下さい



(9) 国際感覚を身に付けるプログラム



- 「国際感覚を身に付ける」
- 「外国文化、遊び、食に触れる」





国際感覚を身に付けるプログラム
(北海道大学大学院)

(10) 社会性の育成

- ハイゼックス講習
- とま～るとの交流
- 長生会や清流大学
- 通学合宿 日高青少年の家

(管外の小学生との交流)



(11) 豊かな教育環境

～ 地域学校協働本部との連携スタート～

学習環境の充実(土曜・放課後・長期休業中等)

- ・長期休業中の学習サポート
- ・土曜学習(ギター・サッカー)

(アコーディオン)

- 地域学校協働本部(社会教育)
- 公民館(社会教育)
- 中央家庭教育(公民館分館～中央小)
- 学童(福祉子育て支援課)
- 占冠村商工課(企画商工課)
- 占冠村地域おこし協力隊
(企画商工課・農林課林業振興室)



連携打合せ
スタート

しむかつぶ まな

じつ

じよう

『占冠学びの十か条』

一 知恵を学ぼう

ちえ まな

そうじ

二 お掃除のプロになろう

かお みあ

あんど

三 顔を見合ってシヨウ&テル

きようりよく

まな

四 協力して学びあう

あいて

きようかん

五 相手に共感

しむかつぶだいすき

がくしゆう

六 占冠大好きくふるさと学習

あそび

まな

七 遊びから学ぶルールとマナー

しっぱい

まえむ

八 失敗は前向きに

たいけん

くふう

九 すすんで体験・すすんで工夫

しゆい

十 主語は「ぼくたち」「わたしたち」



放課後子ども教室



「放課後キッズスペース」

をスタートします！

占冠村公民館では、これまで学校支援ボランティアの皆さんのご協力により、子どもの放課後の安心・安全な居場所づくりのために実施していただきました放課後の「見守り」に加えて、学校の放課後の教室や体育館などの空きスペースを活用して、子どもたちに多様な体験の場を提供し、地域の方々等との交流を通して自ら考え行動する力を育み、学力・運動能力の向上を目指すことを目的に、放課後子ども教室「放課後キッズスペース」を実施することといたしました。

占冠中央小学校に通うすべての児童が参加できます。ぜひご参加ください！

- ◎実施日時 平成29年10月10日(火)～ 毎週火曜日・木曜日の週2回
授業終了から午後5時まで
※ ただし、学校行事、地域行事等と重複した場合は、実施しないことがあります。
- ◎運営 地域住民の皆さん(学校支援ボランティア)、地域おこし協力隊、公民館(教育委員会)職員等
- ◎内容 【毎週火曜日】→ スポーツ活動
体育館を利用してスポーツ活動(フットサル、バドミントン、ダンス、バスケットボール、体操、卓球、軽スポーツ等)をします。
【毎週木曜日】→ 学習サポート・文科系活動
空き教室を利用して学習サポート、文科系活動(ボードゲーム、クラフト作り、プログラミング、料理作り、かるた、将棋等)をします。
※ただし、運営スタッフの状況により変更となることがあります。
- ◎参加方法 別紙申込書を占冠中央小学校に提出ください。
- ◎お問合せ 占冠村公民館(教育委員会社会教育担当) 56-2183 阿部

占冠村公民館

占冠村 中学生に無料塾

富良野地方初 来月開設、学校と連携も

上砂川町が開設した塾で授業する「共育サポート」の講師(5月)



【占冠】村は7月から、村内の中学生を対象に無料の学習塾を開く。村内に学習塾がないため、富良野市の学習塾「英数学館」が昨年9月に設立したNPO法人「共育サポート」(米田秀昭代表)に委託する。富良野地方の自治体が塾を開くのは初めてで、村は学習環境の整備を定住策の一環としても位置づけている。

(古市優伍)

来年1月まで、3年生は20回

村教委によると、塾は放課後に数学と英語を教える。公民館事業として開き、村内中央のコミュニティラザの会議室を使う。教材費も村が負担し、トマム地区の生徒は村が送迎する。授業は7月から来年1月まで、中学1、2年生が10回、3年生が20回。公設の塾は、学校の授業や定期試験に合わせて塾も授業をするなど連携が取りやすい強みがあるという。

村教委によると、村内の中学生は占冠中19人、トマム学校3人の計22人。中には約50キロ離れた富良野市内などの学習塾に通う生徒もいる。塾のある都市部や大規模校などの教育環境を求め、村外へ転出する世帯もある。

村は昨年まとめた「まちひと・しごと総合戦略」の中に、住み続けたいと思える環境を整えるため「村内学習塾の設置を検討」と盛り込んだ。中学生に行ったアンケートで、村内に塾があったら「通いたい」と答えた生徒が62%と多く、開講を決めた。6月の定例村議会は、委託費など171万円を計上した本年度一般会計補正予算案を可決した。

「共育サポート」は地域間の教育格差解消を目指し、自治体と連携して塾を開くのは空知管内上砂川町に続く2番目。英数学館の講師を派遣して授業をする。事務局長の梅本利雄さん(49)は「子どもたちが目標意識を持つて勉強に取り組むようになれば」と語る。藤本武教育長は「小規模自治体の特徴を最大限生かした手厚い教育を進めていきたい」と話している。

学校業務推進が改善

- (1) 校務・PTA・少年団等の業務分担～意識改革と仲の良い職員室～
- (2) 職員会議の効率化と回数の縮減(ペーパーレス化)32回⇒9回
- (3) 日課表の工夫と予時数確保(行事の見直し)
- (4) PTA体制の改善(学校運営協議会へウェイトを)
- (5) 勤務割り振りの工夫(休憩時間の確保)
- (6) ICT環境整備(タブレット・電子黒板)
- (7) 図書整備と図書台帳電子化
- (8) 各学習を教育課程へ位置付け(CS業務推進を学年へ振り分け)

子どもたちの成長を語り合う ～ 学校運営協議会 ～

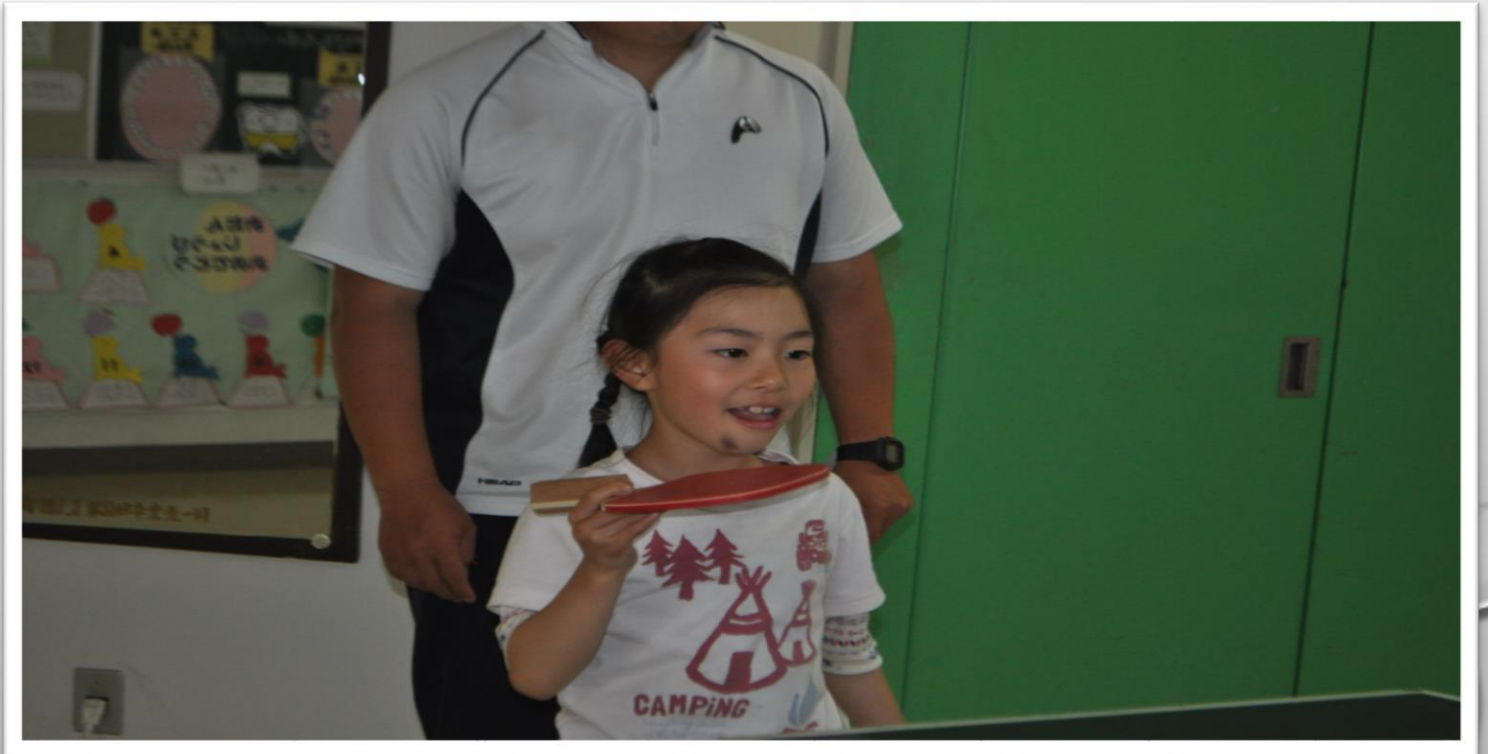
- 子どもたちの学習意欲の向上
- 学校が児童にとって安心して過ごせる場所

(かつては)

個別の遊び

(今は)

集団の遊び



学校運営協議会(2月) 次年度の学校経営方針の承認

平成30年度学校運営方針

重点目標 豊かな体験を通して子どもの豊かな学びと遊びを実現する

- 1 子どもたちの潜在能力を高める学校
- 2 見聞の広い教職員による地域参加型教育活動を展開する学校
- 3 多様な交流を通して国や地域の将来を担う子どもを育む学校
- 4 国際感覚の高い子どもたちを育む学校

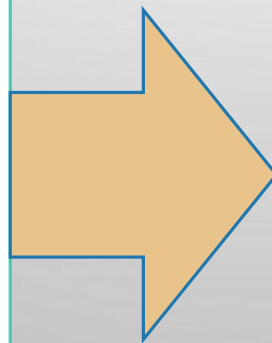
【以前】

**○自己評価・学校評議員
児童保護者のアンケート**

○評価分析 年度末反省

経営方針 分掌計画

PTA総会 実施



【現在】

○改善項目の実現と改善

○応援団としての学校運営協議会

仲が良い学校へ ~ 旅立ち ~



ご静聴ありがとうございました。



占冠へ遊びに来てね！

